

■米国：EPA が 2009 年の温室効果ガス排出量を公表

米環境保護局（EPA）は 2011 年 2 月 16 日、米国の 2009 年の温室効果ガス排出量が CO₂ 換算で 66 億 4,000 万トンであったと発表した。この量は前年比 6.0%減、1990 年比では 7.4% 増となっており 1996 年以降で最も低いレベルとなった。主な要因は、不況により経済分野全般において燃料と電力の消費が減少したためとしている。温室効果ガス排出量のうち約 85%を CO₂が占めており、その約 4 割が発電に伴うものである。